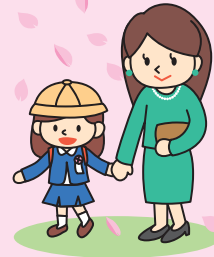


入学期における防犯対策について

あちらこちらで小学校の新1年生を見かける季節となりました。子どもも大人も期待に胸を膨らませる一方で、心配なのが子どもの防犯対策です。

小学校入学後は、登下校はもちろん、交友範囲も広がることから、子どもが一人で行動する時間が増えます。小学校入学を控えた子どもの母親に対して「不安に感じること」についてアンケートを実施したところ、「犯罪や事故に巻き込まれること」という回答が最も多かったという調査結果も出ています。



声掛け事案は4月から6月頃に頻発

北海道警察の資料によりますと、道内における13歳未満の子どもに対する声掛け事案は、平成21年は450件となっており、一昨年の286件、昨年の314件と比較して大幅に増加しています。また、平成22年の1月から2月にかけて発生した声掛け事案は81件となっており、昨年同時期が34件であったことから、依然として増加傾向が続いています。

声掛け事案は、年間を通して発生していますが、過去3ヵ年における4半期ごとの発生状況をみると、4月から6月にかけて最も多く発生していることがわかります。

声掛け事案の発生状況（上段は発生件数、下段は割合）

年別(件数)	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
平成21年 (450件)	73 16.2%	166 36.9%	107 23.8%	104 23.1%
平成20年 (314件)	65 20.7%	93 29.6%	76 24.2%	80 25.5%
平成19年 (286件)	59 20.6%	93 32.5%	56 19.6%	78 27.3%

声掛け事案の傾向

昨年発生した声掛け事案のパターンとしては下記のような特徴があります。

- ターゲットは一人ている子ども（全体の74.9%）
- 発生時間帯は13時から17時までの間（全体の71.8%）
- 発生場所は道路上（全体の78.2%）



子どもの安全のために

●子どもが自分の身を守るために～「いかのおすし」の徹底

知らない人についていかない、車には絶対にのらない、
おごえで知らせる、すぐ逃げる、周りの大人に知らせる
※新1年生全員に「いかのおすし」の下敷き(写真)を札幌西防犯協会からプレゼントします。

●大人が子どもたちを守るために～地域全体で子どもの見守り

一人ひとりが防犯の意識を持ち、通勤や買物、犬の散歩などで外に出るときに子どもや地域に目を向ける

●声掛けを見聞きした場合には～すぐに警察に通報

早ければ早いほど初期対応が可能になるほか、関係団体への情報提供による注意喚起が可能となります



西区

子どもの見守り
ネットワーク通信

第5号
2010年 4月

編集

西区子どもの見守り
ネットワーク会議事務局
(西区総務企画課内)
〒063-8612
西区琴似2条7丁目1-1
TEL.641-2400
(219・220)
FAX.612-5264

皆さんの活動をご紹介します

- ① 団体名(代表者)および参加人数
- ② 活動内容等



① 孫とウォークの会 (愛称:じいじの会、丸山 宇忠 会長) 8名 (琴似小学校児童の祖父母など)

② 学校周辺の道路は交通量が多い一方、歩道が狭いことから、帽子、腕章、ベストを着用して、毎日、孫とそして孫のお友達と一緒に登下校をしているほか、交差点などで子どもの安全を見守っています。「孫の安全のために」と始めた活動でしたが、今では多くの子どもたちと仲良くなるとともに、毎日数km歩くことによって体の健康にも役立っています。丸山会長は「是非多くの方に子どもたちと一緒に歩くことの楽しさを一度体験して欲しいですね」と話されていました。



① 八軒中央すまいるネット

約30名 (青少年育成委員、学校、PTAなど)

② 正式名称は「八軒中央地区の教育力向上協議会」で、平成14年度から青少年育成委員会を中心に、地域内の6つの小中学校やPTA、児童会館などの関係団体が連携し、子どもたちの健全な成長という共通の目的に向けて各々が活動を実施しています。すまいるネットとしては、毎月企画会議を開催しているほか、情報の共有化のために月刊紙「八軒中央すまいるネット通信」を発行し、八軒中、八軒東中の全生徒、八軒北小、琴似中央小、八軒西小、八軒小の全児童などに配布するほか、八軒中央連町の全世帯に回覧しています。



① 発寒東小学校スクールガード

11名 (町内会役員や地域住民など)

② 通学に合わせて毎日活動しており、朝の登校時は7時45分頃から8時30分頃まで、主要な交差点など7箇所で見守りや挨拶を行っているほか、5つのルートの巡回を実施しています。下校時については、1年生の下校時間にあわせて活動しています。「事件や事故を1件でも減らしたい」という思いで活動を始めましたが、活動を続けるうちに子どもたちとも仲良くなり、そのような交流が活動の原動力にもなっています。なお、全校朝会での顔合わせのほか、運動会や入学式などの学校行事にも積極的に参加することで児童との交流をより深めています。



① 発寒北地域安全パトロール隊 (近藤 勝雄 会長)

41名 (発寒北連町、青少年育成委員会など)

② 発寒北地域安全パトロール隊は、地域の安全を地域全体で守り、犯罪などの発生を防ぐことを目的として、平成18年3月に設立されました。主な活動としては、春と秋の神社のお祭りや町内会の盆踊りなどのイベントにおけるパトロールのほか、青色回転灯を装着した車両による定例パトロール、更には年に2回程度、警察・消防車両などと連携して地区内の防犯活動を行う合同パトロールを実施しています。これらの活動を行う際には、お揃いの帽子や腕章、ジャンパーを着てパトロール効果の増大を図っています。



平成21年度 西区子どもの見守りネットワーク会議を開催しました

3月11日、西区子どもの見守りネットワーク会議が開催され、加入団体の代表者など約100人が参加しました。

会議では、議長などの挨拶の後、市職員から現在策定を進めている「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画」の概略について説明が行われました。次に、事務局から加入団体のうち9団体のパトロール活動について、スライドを使った説明が行われ、各団体の特色ある活動内容やそれぞれが抱えている課題、活動を継続していく上での工夫などについて紹介いたしました。最後に、西警察署から女性や子どもに対する声掛けや、ひったくりによる被害が札幌市全体で増加しているといった最近の犯罪発生状況の説明が行われた後、これらの対策として「ほくとくんメール」の活用や青色回転灯装着車両によるパトロールについての紹介が行われ、参加者らはメモを取りながら興味深そうに聴いていました。

